施策の体系図（ロジックモデル）～詳細版～

ありたい姿 ／ 何が変わるのか（成果：高齢者が○○できる等） ／ まずどうなるのか（成果：高齢者が○○している／体制が整備されている） ／ どう動き出すか（結果←活動：市が○○を実施）

基本理念

最終成果（最終アウトカム）

成果目標	成果指標
まちじゅう つながる ささえあう ～誰もが、住み慣れた地域で自分らしく暮らせる地域共生社会を目指すまち なばり～	地域の一員である高齢者が、住み慣れた地域でいきいきと暮らし、幸福を感じながら歳を重ねることができる	幸福を感じている高齢者の割合・健康だと感じている高齢者の割合（ニーズ調査） 生きがいがあると感じている高齢者の割合（市民意識調査）

基本目標－目指す地域の姿－

中間成果（中間アウトカム）

	成果目標	成果指標
地域共生社会 1. 誰もが地域の一員としてささえ・ささえられ、ゆるやかに地域と繋がるまち なばり	●支援が必要な高齢者が、適切な相談支援につながることができる	●まちの保健室の認知度（ニーズ調査、在宅介護実態調査） ●市の保健・医療・福祉に関する相談支援等に満足していると回答した65歳以上の割合（市民意識調査）
	●高齢者が、地域全体でお互いに見守られている	●困った時に身近に相談できる人がいる割合（高齢者実態調査）
	●高齢者も含め住民同士が、つながりの中で、個人が持つ力を発揮できている	●ソーシャルキャピタル（世間一般／近隣の人への信頼、まわりの人のたすけあい）の指標（ニーズ調査）
介護予防・重度化防止 2.いつまでもいきいきと健康を保ち、地域で活躍できるまち なばり	●高齢者が、介護予防に取り組み、要介護状態の改善・重度化の防止ができる	●第1号被保険者数／認定率（特に前期高齢者の認定率） ●健康に関する指標（生活機能評価）の状況（ニーズ調査） ●介護予防の取組が効果的に提供されていると回答した人の割合（ニーズ調査・在宅介護実態調査） ●フレイル非該当の方の割合（ニーズ調査）
	●高齢者が、自分にあった交流・活躍の場に参加し、活躍できる	●地域づくり活動に参加したことのある高齢者割合（市民意識調査） ●地域での各活動に参加したい（既にしている）と回答した人の割合／運営側で参加したい（既にしている）と回答した人の割合（ニーズ調査）
認知症施策 3．認知症になっても、住み慣れた地域で、自分らしく暮らせるまち なばり	●認知症の人が自らの意思によって、多様な主体と共に、日常生活及び社会生活を営むことができる	●認知症になっての暮らしの問いで、各サポートを受けて地域で生活したいと回答した人の割合（ニーズ調査・在宅介護実態調査） ●認知症予防の取組等に参加したい（既にしている）と回答した人の割合（ニーズ調査・在宅介護実態調査） ●認知症相談窓口の認知度（ニーズ調査・在宅介護実態調査）
医療・介護連携 4.医療と介護が連携し、安心して暮らせるまち なばり	●複合的な課題を持つ高齢者や家族が、相談機関から専門機関につながり、サポートを得ることができる	●在宅医療支援センター認知度（ニーズ調査・在宅介護実態調査）
	●医療と介護の両方を必要とする高齢者が、暮らしの場で生活を続けることができる	●市の保健・医療・福祉に関する相談支援等に満足していると回答した65歳以上の割合（市民意識調査）
生活基盤・住まい 5. 高齢者の安全・安心な生活が確保されているまち なばり	●高齢者が、多様な受け皿の中からニーズに合った住まいを選択し、安全・安心な生活を送ることができる	●今後（将来的に）住み慣れた自宅（地域）で生活したいと回答した人の割合（ニーズ調査・在宅介護実態調査） ●地域ささえあい活動へボランティアとして参加したい（既にしている）と回答した人の割合（ニーズ調査）
	●高齢者が、地域社会とつながりを持ち、非常時でも安全・安心に生活できる	●現在の住まいと周辺地域の住環境について、生涯安心して快適に暮らせると思うと回答した65歳以上の割合（市民意識調査）
	●高齢者の意思が尊重され、成年後見制度等を活用しながら安心して生活できる	●成年後見制度を知っていると回答した人の割合（ニーズ調査） ●今後も働きながら介護を続けていけると回答した介護者の割合（在宅介護実態調査）
介護保険制度の運営 6.介護サービスや高齢者福祉サービスが充実しているまち なばり	●高齢者が、質的・量的に必要な介護サービスを将来にわたり安定的に受けることができる	●介護サービスを整備すると、介護保険料が上がる等の影響があるが、名張市では高齢者に必要な介護サービスが過不足なく提供されていると回答した人の割合（ニーズ調査・在宅介護実態調査）
	●世代を超えて納得できる負担と給付の適正な関係が保たれている	

実施目標

初期成果（初期アウトカム）

	成果目標
第1節　地域共生社会の実現に向けた取組 （1）複合的な生活課題に対応できる体制構築 （2）高齢者に対する見守り支援体制の整備 （3）地域共生社会に向けた地域とのつながりに関する取組	①行政の縦割りが解消され、関係機関と協働・連携・調整が行われる支援体制が整備されている
	②地域住民同士が、見守り活動を継続することができる。協定締結事業者が参画し、住民の見守り活動と補完し合うことにより、見守り活動の手薄になっている部分がカバーされている
	③高齢者が、趣味や活動などのつながりをつくることで心身ともに元気になる。地域の様々な人や機関が、つながりの大切さや社会的処方の取組を知り、参画することができる
第2節　介護予防・重度化防止と高齢者の社会参加の推進 （1）介護予防・日常生活支援総合事業の推進 （2）フレイル予防の取組の推進 （3）生きがいづくり・社会参加の推進	①介護サービス事業者が、高齢者の能力を発揮できる（介護予防・重度化防止に根差した）サービスを提供できている
	②高齢者の多様な生活支援ニーズに対応する支援が、民間事業者も含めた多様な主体から提供され、高齢者が全ての圏域で魅力的な介護予防事業に取り組んでいる
	③高齢者が、自分に合った社会活動（交流・活動の場や就労）に参加し、健康づくりやフレイル予防につながる活動・支援に取り組んでいる
第3節　認知症施策の推進（名張市認知症施策推進計画） （1）新しい認知症観の理解促進 （2）認知症の人の社会参加の機会の確保 （3）認知症の人の意思決定の支援の推進 （4）認知症の人やその家族等の相談体制の整備	①認知症の人を含めた市民一人ひとりが、新しい認知症観を理解している
	②地域に、認知症の人やその家族が参加できる場や機会が継続して確保されている
	③認知症の人の意思決定を支援するための体制が整備されている
	④認知症の人が安心して生活できるよう、地域の相談体制が整備されている
第4節　在宅医療の充実と在宅医療・介護連携の推進 （1）地域の医療・介護資源の把握・情報提供、相談支援機能の充実 （2）2040年に向けた医療・介護サービス提供体制等の確保	①高齢者や家族が、在宅生活の継続に係る医療や介護の不安や疑問等を安心して相談できる
	②入院から日常の在宅療養、急変時の対応、看取りに渡って、医療と介護が連携できている
第5節　住み慣れた地域での暮らしを支える生活基盤と権利擁護の充実 （1）生活基盤の充実 （2）安全・安心な住環境及び多様な住まいの確保 （3）災害対策・要配慮者支援の推進 （4）権利擁護支援の推進	①住み慣れた地域で暮らし続けるため、生活基盤や地域の支援体制等（ソフト面）の資源が整備されている
	②住み慣れた地域で暮らし続けるために関係機関と連携が図られ、ニーズに合わせた住まいと住環境（ハード面）の資源が整備されている
	③支援が必要な高齢者の実態把握ができており、災害や感染症などの非常時に、命を守り、サービスが継続できる体制が整備されている
	④本人の意思が尊重される権利擁護支援体制が整備されている
第6節　介護保険制度の円滑な運営 （1）介護保険事業の展開 1）施設・居住系サービス 2）居宅サービス 3）地域密着型サービス 4）居宅支援・介護予防支援 5）市町村特別給付 （2）介護保険事業者への支援 （3）介護給付適正化の取組	①適切な介護サービス量を見込み、制度の持続が可能な保険料が設定されている
	②事業所の介護人材が確保され、研修等による資質向上と関係団体との連携を図る機会があり、そこで働く人がやりがいを持って働ける職場環境が整備されている
	③自立した生活が送れるよう、効果的・効率的に適正な介護サービスが提供されている

施策・事業

結果（アウトプット）／活動（アクティビティ）

結果指標	個別施策
●多職種連携のケース検討数 ●まちの保健室/相談延べ件数 ●まちの保健室/地区活動 活動回数・延べ参加人数	●「地域福祉教育総合支援ネットワーク」の取組 ●多機関協働による包括的支援体制の構築 ●「まちの保健室」の機能の向上と周知
●見守り活動推進事業登録者数 ●見守り活動協定締結事業者数	●民生委員・児童委員の相談活動への支援 ●地域の見守り活動に関する協定、地域の見守り活動推進事業
●社会的処方の取組件数	●世代、分野を超えた、孤立や生活上のsosの出しやすい地域の醸成 ●子どもや若者と高齢者の世代間交流の取組 ●人と人・人と地域・保健医療福祉のつながりづくり
●集団指導の参加人数 ●まちの保健室/地区活動 活動回数・延べ参加人数 ●介護予防事業を担う民間事業者数	●訪問型・通所型サービス、介護予防ケアマネジメントの推進 ●介護予防活動の推進 ●リハビリテーション活動の推進
●特定健康診断受診率 ●フレイル予防教室開催数 ●まちじゅう元気!!リーダー研修開催数	●高齢者の保健事業と介護予防の一体的な推進 ●多面的なフレイル予防の推進 ●地域におけるフレイル予防活動の充実
●高齢者サロン開催数	●地域づくり組織の活動の充実 ●生涯学習に取り組める環境の充実 ●スポーツに親しむ環境の充実 ●就労機会の創出　●老人クラブ活動への支援
●認知症サポーター養成者数	●新しい認知症観の普及啓発 ●認知症サポーター養成講座の開催 ●認知症ケアパスの活用　●認知症の予防
●認知症の人の社会参加に向けた多様な主体の数	●認知症の人やその家族の居場所の確保 ●関係機関等の相互の連携を高める取組 ●地域での見守り体制の整備
●意思決定支援に関する研修会への参加者数	●可能性指向に基づく意思決定支援
●まちの保健室/相談延べ件数 ●認知症初期集中支援チームの対応を含む相談件数 ●本人・家族の交流会等開催件数	●認知症フレンドリー相談窓口（仮称）の設置運営 ●認知症初期集中支援チームによる支援 ●家族介護支援の推進
●まちの保健室/相談延べ件数 ●在宅医療支援センター相談延べ件数	●在宅医療・介護連携に関する相談支援 ●地域の医療・介護資源の把握・情報提供 ●地域住民への普及啓発
●在宅支援実務者会議参加団体数 ●在宅医療支援センター研修会 実施件数、参加人数 ●地域医療つながりサポート報告件数	●在宅医療、介護連携の課題抽出と対応 ●切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築 ●医療・介護関係者への研修 ●医師会等との情報連携による支援
●まちの保健室/地区活動 活動回数・延べ参加人数 ●地域ささえあい活動数 ●紙おむつ給付事業の給付人数 ●配食サービス事業の食数	●生活支援体制整備事業の推進 ●高齢者福祉サービスの提供 ●高齢者の日常生活を支える移動手段の確保
●生活相談会相談件数 ●養護老人ホームへの措置者数	●高齢者のニーズに沿った多様な住まいの確保と情報提供 ●高齢者世帯における住宅の耐震化 ●養護老人ホームへの入所措置及び市営住宅の確保
●高齢者等実態調査の件数 ●個別避難計画の策定件数	●高齢者等実態調査等による実態把握 ●避難行動要支援者の個別避難計画の策定を推進 ●災害時を想定した近隣の見守り・支援体制の構築 ●福祉避難所の機能強化と受入体制の確立 ●介護サービス事業所の業務継続計画策定支援と実効性確保
●成年後見制度に関する相談件数 ●高齢者虐待の対応件数	●権利擁護に関する相談・支援体制の充実 ●身寄りのない高齢者等への支援 ●地域権利擁護相談支援センターを中核とした支援体制の整備 ●高齢者虐待防止の推進　●家族介護支援の推進
●サービス基盤整備数	●施設・居住系サービスの整備　●居宅サービスの整備 ●地域密着型サービスの整備 ●居宅介護支援・介護予防支援の整備　●市町村特別給付
●集団指導の参加人数 ●在宅医療支援センター主催等の研修会の参加人数	●介護保険サービス全般にわたる適正な指導・監督 ●介護人材の確保と介護現場の生産性向上
●介護給付適正化事業の実施状況	●要介護認定の適正化 ●ケアプランの点検 ●医療情報との突合・縦覧点検　等